

# 水稻・だいの病害虫防除に

# アミスター<sup>®</sup>トレボン<sup>®</sup>SE

農林水産省登録 第21250号



## アミスタートレボンの特長

- 従来、航空防除および無人航空機（無人ヘリコプター等）散布の場面において、多くの地域で混用されてきたアミスターエイトとトレボンエアーを混合剤として仕上げました。
- 一成分でいもち病、紋枯病他に有効なアゾキシストロビンとカメムシ類他に有効なエトフェンプロックスの混合剤はこれらの同時防除剤として最適です。
- 特に、穂揃期の散布で穂いもちおよびカメムシ類などの防除のみならず、紋枯病の上位進展を強力に抑制します。
- WCS（稲発酵粗飼料）用稲にも使用できます。
- 大豆の紫斑病、カメムシ類にも登録があるので、水稻と共通で使用でき経済的です。
- あらかじめ混合剤として製剤されているため、作業性の改善や使用済み容器の軽減につながります。

アミスターはシンジェンタ社、トレボンは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。



## ■適用病害虫名および使用方法

\*毒物・劇物に該当しないものを指している通称

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数	アゾキシストロピンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 コブノメイガ カメムシ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ	1000倍	60~150ℓ /10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	3回以内	4回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では3回以内)
		300倍	25ℓ/10a					
		30倍	3ℓ/10a					
		8倍	800mℓ/10a			無人航空機 による散布		
だいず	紫斑病 ハスモンヨトウ カメムシ類 マメシクイガ アブラムシ類	1000倍	100~400ℓ /10a	収穫21日 前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
		8倍	800mℓ/10a			無人航空機 による散布		

## ■殺菌成分:アゾキシストロピンについて (アミスター)

- 一成分で、いもち病・紋枯病に有効です。
- いもち病に対して分生子柄形成及び分生孢子形成を強く阻害し、孢子の飛散を抑え高い二次感染阻止効果が得られます。
- 紋枯病に対して水平進展及び垂直進展を阻止します。また、適期幅が広く持続性に富みます。
- 予防効果、治療効果を兼ね備え、さらに浸透移行性も示します。
- 大豆の紫斑病防除に定評があり、他剤耐性菌に対しても高い効果を示します。

## ■殺虫成分:エトフェンプロックスについて (トレボン)

- カメムシ類、ツマグロヨコバイ、ウンカ類をはじめ広い範囲の害虫に効果を示します。
- カメムシ類に対して殺虫効果と忌避作用を示し、カメムシ類による斑点米や、大豆被害粒の発生を抑えます。
- 優れた速効性と残効性を示します。

## 注意事項

### ⚠ 使用上の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前に容器をよく振ってから本剤を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる兼用型速度連動式地上液剤少量散布装置(バンクスプレーヤなど)を使用してください。

### ⚠ 空中散布および無人航空機による散布に関する注意

- 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
- 少量散布の場合は微量散布装置の散布器具以外は使用しないでください。
- 散布に当たっては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うようにしてください。
- 散布薬液の飛散により他の動植物および自動車やカラートタンの塗装等に被害を与えないよう散布区域内の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意してください。
- 水源地、飲料水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
- 散布終了後は次の事項を守ってください。
  - ①使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
  - ②使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管してください。
  - ③機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。

### ⚠ その他の注意事項

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ①ミツバチの巣箱およびその周辺に飛散するおそれがある場合は使用しないでください。
  - ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 空中散布および無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 使用残りの薬剤が生じないよう調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### 薬害

- りんごの一部品種(あかね、旭、ガラ、きざし、モーリースデリシャス、ラリタン等)では、葉にネクロシス(褐変)や落葉、また果実にはさび果や落果を伴う品種特有の激しい薬害が生じるので飛散(ドリフト)等により散布液がかからないよう十分注意してください。また、本剤を使用した散布器具および希釈液タンクを用いてりんごのこれら品種には散布しないでください。

#### 毒魚・魚害

- 蚕に対して長期毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 水産動植物(魚類)に影響をおよぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響をおよぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので、養殖池等周辺での使用はさけてください。

#### 安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗いしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 密栓し、直射日光を避け、なるべく低温な場所に保管してください。

本資料の記載内容は2023年7月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。